

製品名: カルパイン 10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07864**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	CAPN10
別名	CAPN10; KIAA1845; Calpain-10; Calcium-activated neutral proteinase 10; CANP 10
遺伝子 ID	11132.0
SwissProt ID	Q9HC96
免疫原	ヒトカルパイン 10 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

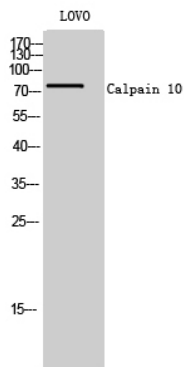
カルパインは、カルシウム依存性システインプロテアーゼの普遍的でよく保存されたファミリーです。カルパインタンパク質は、不変の小サブユニットと可変の大サブユニットからなるヘテロ二量体です。大触媒サブユニットは 4 つのドメインから構成されます。

ドメイン I はカルパインの活性化によって処理される N 末端調節ドメイン、ドメイン II はプロテアーゼドメイン、ドメイン III は機能未知のリンカードメイン、そしてドメイン IV はカルモジュリン様カルシウム結合ドメインです。この遺伝子はサブユニットをコードします。カルモジュリン様カルシウム結合ドメインを欠き、代わりに異なる C 末端ドメインを持つ点で、非定型カルパインです。その構造はカルパイン 5 および 6 に類似しています。この遺伝子は 2 型糖尿病またはインスリン非依存性糖尿病 (NIDDM) に関連しており、NIDDM1 領域内に位置しています。この遺伝子には、複数の代替転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、触媒活性: 広範なエンドペプチダーゼ特異性、疾患: CAPN10 遺伝子の変異は、インスリン非依存性糖尿病 1 型 (NIDDM1) の感受性に関連している [MIM:601283]。糖尿病は、高血糖を特徴とする代謝性疾患の異なるグループであり、治療せずに放置すると、失明、腎臓病や心臓病、脳卒中、四肢切断、そして平均余命の短縮につながる。糖尿病は、1 型またはインスリン依存性糖尿病と、2 型またはインスリン非依存性糖尿病 (NIDDM) の 2 つの主要なタイプに分けられる [MIM:125853]。NIDDM は通常、成人期に発症し、インスリン作用およびインスリン分泌の欠陥を特徴とします。機能: 細胞骨格のリモデリングおよびシグナル伝達に参与する基質の限定的なタンパク質分解を触媒する、カルシウム調節性非リソソーム性チオールプロテアーゼ。類似性: ペプチダーゼ C2 ファミリーに属します。類似性: 1 つのカルパイン触媒ドメインを含みます。組織特異性: 普遍的な。]

研究分野

-

画像データ



カルパイン 10 ポリクローナル抗体を用いた LOVO 細胞のウェスタンブロット解析